

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

公開実用平成 2-30318



⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平2-30318

⑬ Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)2月27日

A 61 F 5/02
A 41 B 9/02
A 41 C 1/00

K 7603-4C
E 6154-3B
Z 6154-3B
C 2119-3B

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全 頁)

⑮ 考案の名称 自在サイズの健康パンツ

⑯ 実 願 昭63-107488

⑰ 出 願 昭63(1988)8月15日

⑱ 考 案 者 中 井 均 京都府京都市下京区万寿寺通東洞院東入万寿寺中之町72
⑲ 出 願 人 中 井 均 京都府京都市下京区万寿寺通東洞院東入万寿寺中之町72
⑳ 代 理 人 弁理士 多田 貞夫

明細書

1 考案の名称

自在サイズの健康パンツ

2 実用新案登録請求の範囲

1 ヒトの腹部に当るべき部分が上下に亘つて切離(7)されつつ広い左右巾に亘つて前後に重なり合う二重組織(3)に形成され、かつ該二重組織(3)の前後各組織間に係脱自在のファスナー具(4)を介在させて該二重組織(3)部分の左右巾が自在に調節できるようにされたパンツ本体(1)に、ヒトの股関節部のある位置の腰部及び下腹部の周りを弾力又は／及び張力を介して緊縛し得るバンド(5)を、その基部を該パンツ本体(1)のヒトの腰部に当るべき部分に固着しつつ装着したことを特徴とするパンツ

2 ヒトの股関節部のある位置の腰部及び下腹部を取巻いた状態にある該バンド(5)を外装状に被覆するバンド垂下り防止カバー(6)が、そのヒトの腹部に当るべき部分の上縁部以外の上縁部及び下縁部を該パンツ本体(1)に適宜固着しつつ、



該パンツ本体(1)に付設された請求項 1 記載のパンツ

3 該バンド垂下り防止カバー(6)が、そのヒトの腹部に当るべき部分を上下に亘つて切離(9)しつつ広い左右巾に亘つて前後に重なり合う二重層(11)に形成し、かつ該二重層の前後各層間に係脱自在のファスナー具(10)を介在させて該二重層部分の左右巾を自在に調節できるようにしたものである請求項 2 記載のパンツ



3 考案の詳細な説明

産業上の利用分野

本考案は、ヒトの各所の疼痛、神経痛、腰痛、仮性近視などの原因不明の障害を取除くのに著効を奏する、ヒトの股関節脱臼とか股関節亜脱臼といった股関節部組織の異常を匡正すべき手段としての、ヒトの股関節部周りを緊縛できるバンドを有するパンツに関し、しかもそのパンツの腹部のサイズを自在に調節できるようにして、肥満して腹部がだぶついた人でも或いはやせた人でも容易に体形に合わせてびつたりと



着用でき、バンドで安定して股関節部組織の異常の匡正を継続できるようにした健康パンツに係る。

従来技術

最近は姿勢が悪い子供が増えたり、大人、子供を通じて歩行や運動に原因不明の痛みを感じたり、腰痛とか仮性近視、血行障害などを訴える人が増えてきているが、そのような身体障害も股関節部における亜脱臼などの組織的な歪を是正することによつて顕著に治療効果を挙げ得る場合の少くないことが注目されている。そしてその股関節部組織の異常を是正するための手法としてゴムチューブなどでヒトの股関節部のある位置の腰と下腹部の周りを数回緊縛したうえで体操をするなどの方法がとられているが、ゴムチューブなどを安定して長時間腰回りなどの定位置に巻付けることは技術的にむずかしいうえに日常生活に不便となつて仲々に困難である。そこで考案者は先に長時間安定して股関節部周りを緊縛できる手段としての、バンドをバ



ソツなどの下半身用下着に組合せたものを開発し（実願昭 59-112067号及び実願昭 60-15750号各明細書参照）、股関節部組織の異常の匡正、ひいては身体の姿勢の是正、各種障害の治療に多大の効果を挙げている。

考案が解決しようとする課題

しかし、身体に障害を持つ人は概して姿勢や体形が正規のものから変化している場合が少なく、また時には下腹が異常に膨出状になつていたり、或いはスリムになつている場合などもある。従つて標準的な各種サイズの股関節部緊縛バンド付きのパンツなどをデザインし、調製しても各個人の体形にびつたり合致したものを提供するのが仲々むずかしく、ひいては股関節部のある位置の腰周りを長期間安定して緊締して障害の治療効果を有効に挙げ得る股関節部緊締用バンド付きのパンツなどを提供するのがむずかしいという困難が生じがちである。

本考案はそのような困難を克服すべくなされたもので、少数の異なつたサイズのものを用意

するだけで種々な体形を持つ人々に対しても夫々の人がその体形に合わせて容易に着用することができて長期に亘つて安定して障害の治療を継続できるようになる股関節部緊締用バンド付きのパンツを提供することを目的とする。

課題を解決するための手段及び作用

本考案は、ヒトの腹部に当るべき部分が上下に亘つて切離(7)されつつ広い左右巾に亘つて前後に重なり合う二重組織(3)に形成され、かつ該二重組織(3)の前後各組織間に係脱自在のファスナー具(4)を介在させて該二重組織(3)部分の左右巾が自在に調節できるようにされたパンツ本体(1)に、ヒトの股関節部(8)のある位置の腰部及び下腹部の周りを弾力又は／及び張力を介して緊締し得るバンド(5)を、その基部を該パンツ本体(1)のヒトの腰部に当るべき部分に固着しつつ装着したことを特徴とするパンツである。

このような構造のパンツにすると、着用するときには第3図に示すように該二重組織(3)の前後各組織間にあるファスナー具(4)の係合を外し

てその各組織を前方へ垂れ下らせるようにするとパンツの腹部に当るべき部分がフリーサイズとなつてヒトの腹部形状の如何にかかわらず着用、脱着操作が楽に行えるようになるうゑに、着用後はフアスナー具(4)の係合位置を適宜選択することを介してヒトの腹部サイズにピッタリ合致させてパンツの該二重組織部の左右巾を調節し、一定化させることができるようになり、従つてその上にバンド(5)を巻付けたときにそのバンド(5)の対人関係位置がずれたり移動したりし難くなつて、ヒトの体形の如何を問わず安定的に長時間に亘つてそのバンドでヒトの股関節部周りを緊締できるようになるのである。



この場合、そのパンツを、ヒトの股関節部のある位置の腰部及び下腹部を取巻いた状態にある該バンド(5)を外装状に被覆するバンド垂下り防止カバー(6)が、その腹部に当るべき部分の上縁部以外の上縁部及び下縁部を該パンツ本体(1)に適宜連続的又は断続的に固着しつつ、該パンツ本体(1)に付設されたものとすることができる。



更にまた、そのバンド垂下り防止カバー(6)付きのパンツにおいて、そのバンド垂下り防止カバー(6)をパンツ本体(1)の腹部に当る部分と同様に、そのカバー(6)のヒトの腹部に当るべき部分を上下に亘つて切離(9)しつつ広い左右巾に亘つて前後に重なり合う二重層(11)に形成し、かつ該二重層の前後各層間に係脱自在のフアスナー具(10)を介在させて該二重層部分の左右巾を自在に調節できるようにする場合もある。



このようにバンド垂下り防止カバー(6)をバンド(5)を外装状に被覆する態様に付設したパンツにするときは、バンド(5)がその両端部を係合させてない状態のときでもその防止カバー(6)中に収納されたかたちになることからその両端部が下方へだらりと垂下るようなことがなくなつて、そのパンツの着脱操作にそのバンドが邪魔になるといつたことがなくなると共に、パンツを着用後にバンド(5)の両端部の係合を解くときに、^もその両端部が垂下ることを防止して着用者の日常行動に不便を感じさせるおそれがなくなるう



えに、そのバンド(5)でヒトの股関節部のある位置の腰部及び下腹部の周りを緊縛したいときにはそのカバー(6)の腹部に当る部分の、パンツ本体(1)に固着されていない上縁部からカバー(6)内へ手を挿入してバンド両端部を相互に係合させ、バンド(5)をその緊縛状態におくことが自在に可能となり、バンドの係脱操作に何らの支障を来すこともない。

なお、前述したとおり本考案のパンツはその腹部のサイズがかなりの左右巾に亘つて自在に変更可能となつていることとの関係から、バンド垂下り防止カバー(6)がそのサイズ変更を制約するようなことがないように、そのカバー(6)の材質は左右方向に伸縮性を豊かに有するものとするのが好ましいのはいうまでもない。

更に前述したごとくバンド垂下り防止カバー(6)のヒトの腹部に当るべき部分をパンツ本体(1)のヒトの腹部に当る部分と同様にフアスナー具(4)の係合を介して左右巾がかなり広い巾に亘つて自在に調節できる二重層(1)に形成する構成と



すれば、ファスナー具(4)の係合を外して二重層の各層を前方へ垂下させたり、ファスナー具(4)の係合位置を移動させて二重層の左右巾をかなりの巾に亘つて調節できるようになるので、そのカバー(6)の存在が前述したパンツ本体(1)のヒトの腹部に当る部分の持つサイズ調節自在機能に支障を及ぼすおそれは全くなくなる。

実施例 1

第 2 図に示すごとくパンツ本体(1)のヒトの腰部に当るべき部分に、ヒトの股関節部のある位置の腰部及び下腹部の周りを弾力又は／及び張力を介して緊縛し得るバンド(5)の基部を固着する一方で、第 1 図に示すごとくパンツ本体(1)の上縁部からヒトの恥部に当るべき箇所までのヒトの腹部に当るべき部分を、上下に亘つて切離(7)しつつ、ヒトの恥部に当る箇所では幾分狭いめの左右巾でまた上縁部ではかなりの広い左右巾に亘つて前後に重なり合うかたちとなつた適宜に広い左右巾の二重組織(3)に形成すると共に、その二重組織の上縁部の前後各組織間にはマ



ジックテープ式の係脱自在のファスナー具(4)を介在させてそのファスナー具(4)の雄雌間の係合位置を左右に適宜移動させることによつてその二重組織(3)部分の左右巾を自在に調節できるようにし、またその二重組織(3)の組立又は第3図に示すようにその各組織部分への分解が自在に行えるようにしたものである。

なお第1図の2点鎖線はバンド(5)をヒトの股関節部のある位置の腰部及び下腹部の周りを緊縛状態におくためにバンドの両端部を相互に係合させたときの状態を示し、また第3図の1点鎖線は二重組織(3)の右方組織部分を部分的に前方へ折れ曲らせたときの状態を示している。

更に第6図はそのパンツをヒトが着用してバンド(5)でヒトの股関節部のある位置の腰部及び下腹部の周りを緊縛しているときの状態の側面図であり、また第7図はその状態でのヒトの前腹部に当る部分の拡大断面図であるが、図面符号の(8)はヒトの股関節部のある位置を示している。



そして、第 1 図、第 2 図及び第 7 図に夫々 1 点鎖線でまた第 6 図には 2 点鎖線で示すように、バンド(5)の垂下りを防止してパンツの着用操作時とかパンツを着用している状態でバンドの緊張状態を解くときなどにバンドの存在が邪魔にならないようにすべく、ヒトの腰部及び下腹部を取巻く状態にあるバンド(5)を外装状に被覆するカバー(6)をそのヒトの腹部に当る部分の上縁部を除いてパンツ本体(1)に固着するようにして付設してもよい。



そしてそのカバー(6)を第 8 図に示すように、パンツ本体(1)のヒトの腹部に当るべき部分の構造と同じように、上縁部からヒトの恥部に当るべき箇所までのヒトの腹部に当る部分を上下に亘つて切離(9)しつつ適宜に広い左右巾に亘つて前後に重なり合う二重層(11)に形成すると共に、その二重層上縁部の前後各層間に着脱自在のファスナー具(10)を介在させ、そのファスナー具(10)の雄雌間の係合を外したり、その係合位置を移動させたりすることによつてその二重層をその



各層部分へ分解したりその二重層部分の左右巾を調節することを自在にできるようにして、そのカバー(6)の存在が前述したパンツ本体のヒトの腹部に当るべき部分の二重組織(3)の持つサイズ調節自在機能を阻害するおそれが全くないようにする場合もある。

実施例 2

第4図に示すように、パンツ本体(1)のヒトの腰部に当るべき部分に、ヒトの股関節部のある位置の腰部及び下腹部の周りを弾力又は／及び張力を介して緊縛し得るバンド(5)の基部を固着する一方で、パンツ本体(1)の上縁部からヒトの恥部に当るべき箇所までのヒトの腹部に当る部分を上下に亘つて切離(7)しつつ、ヒトの恥部に当る箇所では幾分狭いめの左右巾でまた上縁部ではかなりの広い左右巾に亘つて前後に重なり合うかたちの適宜に広い左右巾の二重組織(3)に形成すると共に、その二重組織の上縁部及びヒトの恥部に当る箇所の夫々の前後各組織間にマジックテープ式の係脱自在のフアスナー具(4)を



介在させて、そのファスナー具の雄雌間の係合位置を左右に移動させることによつてその二重組織(3)部分の左右巾を自在に調節できるようにし、また第4図の1点鎖線で示すようにファスナー具(4)の係合を解きつつその二重組織部分を左右に開き得るようにしてパンツ着用時などの便を図れるようにしている。

なおこの場合も前述実施例の場合と同様にバンド垂下り防止カバー(6)を付設したり、そのカバー(6)のヒトの腹部に当るべき部分の構造をこの実施例のパンツ本体(1)のヒトの腹部に当るべき部分の構造と全く同様の、二重層部分を設けつつそれを左右に開き得るものにしてよいのももとよりである。



実施例 3

第5図に示すように、パンツ本体(1)のヒトの腰部に当るべき部分に、ヒトの股関節部のある位置の腰部及び下腹部の周りを弾力又は／及び張力を介して緊縛できるバンド(5)の基部を固着する一方で、パンツ本体(1)の上縁部からヒトの



恥部に当るべき箇所までのヒトの腹部に当るべき部分を上下に亘つて左右両側部で切離(7)しつつ、その両切離(7)部分について夫々適宜の左右巾でそれら左右两部分を合計すれば適当に広い左右巾となる、前後に重合する二重組織(3)を形成すると共に、それら各二重組織上縁部の前後各組織間に同様にマジックテープ式の係脱自在のファスナー具(4)を介在させて、それらファスナー具の雄雌係合位置を移動させることによつて各二重組織部分の左右巾を自在に調節できるようにし、また第5図の1点鎖線で示すようにファスナー具(4)の係合を解きつつそれら二重組織部分の各前方組織部分を前方へ垂下らせ得るようにして同様にパンツ着用時などの便を図れるようにしている。

なおこの場合も前述各実施例の場合と同様にバンド垂下り防止カバー(6)を付設したり、そのカバー(6)のヒトの腹部に当るべき部分の構造をこの実施例のパンツ本体(1)のヒトの腹部に当るべき部分の構造と全く同様の、左右に二重部分

を設けつつそれらの各前方層部分を前方へ垂下
らせ得るものにしてよいのももとよりである。

考案の効果

本考案は次のような効果を奏する。

イ、ヒップ部のサイズの合つたものを選択するだけで体形の如何を問わずにパンツを体形に
びつたり合わせて着用することができ、ひいて
はヒトの股関節部周りの定位置を長時間安定し
てバンドで緊縛できるようになると共にそのパ
ンツによる障害治療効果を促進できるようにな
る。



ロ、必要に応じてヒトの腹部に当る二重組織
部分を前後各組織部分に分解し得るのでパンツ
の着用、脱着操作が容易になつて障害者などに
も使用が楽に行えるようになる。

ハ、構造が簡易であつて経済的な健康パンツ
となる。

ニ、請求項 2 又は請求項 3 の考案によればパ
ンド垂下り防止カバーのおかげでパンツ着脱操
作時などにバンドの存在が邪魔にならない、取



扱容易なパンツとなり、また特に請求項3の考案の場合には前記イ、及びロ、にいう効果を阻害するおそれの全くないカバー付きパンツとなる。

4 図面の簡単な説明

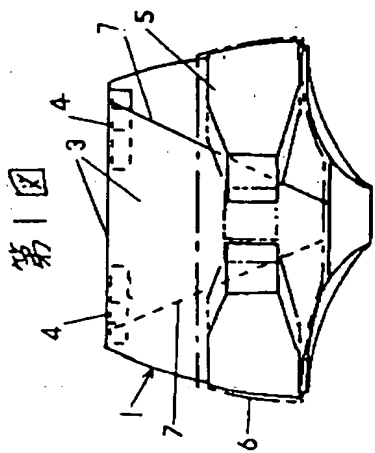
第1図は本考案一実施例の正面図、第2図はその実施例の背面図、第3図はその実施例のバンドを開くと共に二重組織部を一部前方へ開いた状態の正面図、第4図及び第5図は本考案の夫々他の実施例の正面図、第6図は第1図実施例の使用説明側面図、第7図は第6図のヒトの前腹部に当る部分の拡大断面図、第8図は第1図実施例の、バンド垂下り防止カバーの一例を付設したものの、要部正面図

(1) … パンツ本体、(3) … 二重組織、(4) (10) … フアスナー具、(5) … バンド、(6) … バンド垂下り防止カバー、(7) (9) … 切離、(8) … 股関節部、(11) … 二重層

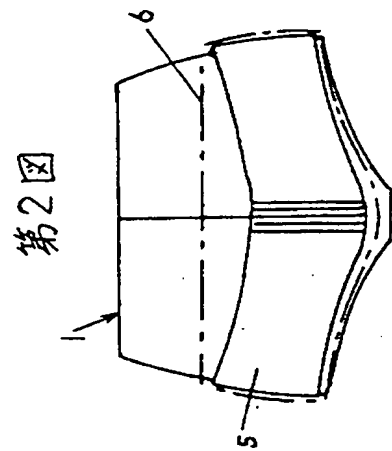
実用新案登録出願人 中井 均

代理人

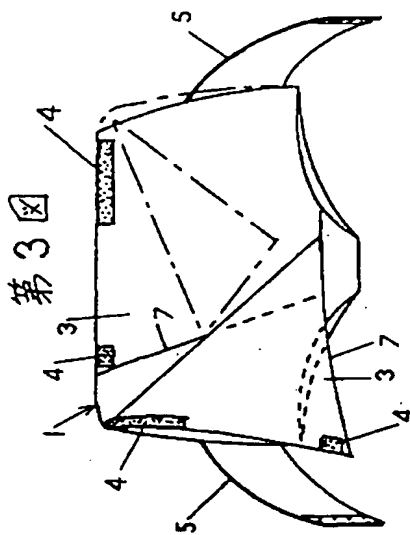
多田 貞夫



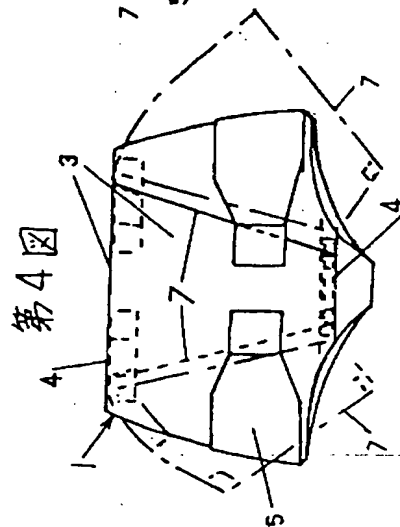
第1図



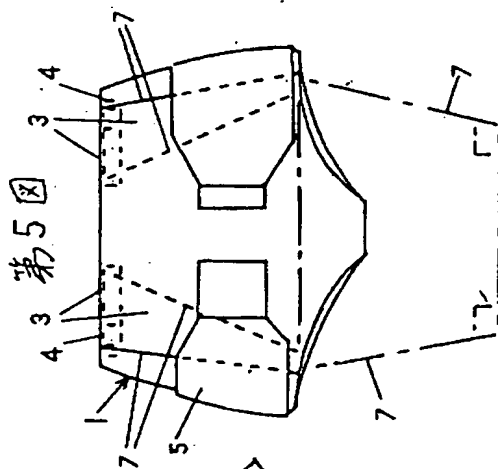
第2図



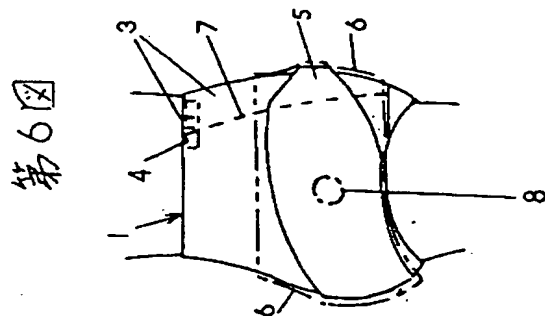
第3図



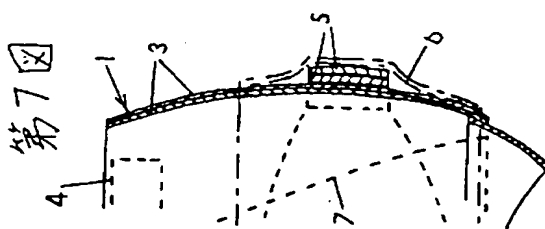
第4図



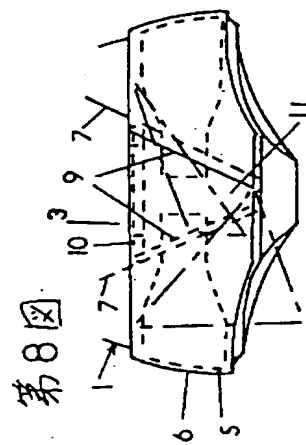
第5図



第6図



第7図



第8図

